

# お薬教室指導案（4年）

日時 平成 29 年 10 月 26 日（木）  
 対象 1～3校時（4年生各クラス）  
 授業者 T1 重田佳代  
 T2 向田慶子

ねらい：薬を正しく安全に使うためには、どのようなことに気をつけたらよいかを知る。

	○学習活動 【スライド番号】	留意点と確認事項
導入 5分 (重田)	<p>○今日の学習のめあてについて知る。 【1】</p> <p>○自然治癒力、免疫力について知る。 【2～5】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">薬を使わずに病気やけがが治ったことがありますか</p> <p style="padding-left: 20px;">C) ある。治せる。大きな病気は治せない。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「じゃあ、薬は何のためにあるの？」 【6～8】</p> <p style="padding-left: 20px;">C) 病気を早く治すため、ばいきんをやっつける</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">薬を正しく使う方法を薬剤師の向田先生に教わろう</p>	<p>T1 男子4列、女子2列で座らせる。</p> <p>T1 向田先生を紹介する。</p> <p>T1 病気の経験を思い出させる。</p> <p>T1 ①体には病気やけがを治す力が備わっていること②薬は病気やけがを早く治し健康な状態に戻るのを助けることを確認する。</p> <p>(元の状態よりよくする薬はない)</p>
展開 ① 10分 (向田)	<p>○薬の種類や形状について知る。 【9～13】</p> <p>○薬を水で飲む理由について知る。 【14～18】</p>	<p>T2 カプセル模型を見せて説明する。</p> <p>T2 薬の形状が違うのは体内での効果を工夫してあることを説明する。</p> <p>T2 後で実験することを伝える。</p>
展開 ② 10分 (向田・重田)	<p>○なぜ薬を水で飲まなければいけないのかを確認するための実験を行う。 【19～23】</p> <p>①水なしでカプセルを飲むと指に（のどに）くっつく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少量の水を手につけてカプセルを触ってみる（水の量が少ないと手にくっついてしまう）</li> </ul> <p>②薬をお茶で飲むと沈殿ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験管水とお茶を入れた2本の試験管に同時に錠剤を入れる。</li> </ul> <p>(薬とお茶の成分が反応して黒く沈殿する)</p>	<p>T2 実験の内容について説明する</p> <p>T1 説明を聞いた後、6グループに分かれる指示をだす。</p> <p>T1 予め長机に、シャーレとカプセル、少量の水をおいておく。</p> <p>T1 2 実験①が終わった後、実験②の道具を配る。</p> <p>T2 実験結果よりコップ1杯の水で飲むことの大切さを確認する。</p> <p>T1 元の場所に戻るよう指示する。</p>
展開 ③ 10分 (向田)	<p>○胃に入った薬が体内でどのように溶けるのかを知る。 【24～27】</p> <p>○薬の正しい飲み方について知る。(回数・量・時間) 【28～30】</p> <p>○薬には副作用があることを知る。 【31～35】</p>	<p>T2 薬は血中濃度がちょうどよい範囲の時に効果があることを確認する。</p> <p>T2 薬の飲むときの約束を確認する。</p> <p>T2 副作用が出た場合は、大人に相談することを伝える。</p>
7分 まとめ (重田)	<p>○病気を早く治すためには薬を正しく使うことと、健康や運動、食事などが大切であることを知る。 【36～39】</p> <p>○アンケートに記入する。</p>	<p>T1 薬はあくまでも補助であり、自然治癒力の大切さを確認する。</p> <p>T2 アンケートを配布し、その場で書かせて回収する。</p> <p>T1 下校時冊子2冊を配布する。</p>

☆実験準備（理科室から借りる）：シャーレ（ふたつき）6個、試験管 12 本、試験管立て6個